

高知に、吃音のことを語り合える場所を創りたい。

私たち言友会（げんゆうかい）は、吃音（きつおん）があっても自分らしく、豊かに生きる方法を探すための活動を全国各地で展開しています。

オンライン配信もあるぜよ

日時

2023年7月30日(日)

13:00~16:00

会場 高知県立ふくし交流プラザ
研修室D

(高知県高知市朝倉戊375-1)

参加費 無料 定員 30名

対象

吃音のある人、吃音のある人のご家族、
支援者（言語聴覚士、ことばの教室の先生など）、
吃音に関心のある方

プログラム

言友会の紹介、吃音に関する講演、
吃音の体験談発表、グループトークなど

第2回 吃音の高知

のつどい



主催 特定非営利活動法人 全国言友会連絡協議会
後援 毎日新聞高知支局

問い合わせ 080-3076-5421 (齊藤) saito@zengenren.org

高知・吃音のつどい

吃音（きつおん）とは？

吃音は、「スムーズに話せないこと」で、具体的には、①繰り返し（例：おおおはよう）、②引き伸ばし（例：おーはよう）、③ブロック（例：…おはよう）の3つが「中核症状」とされています。しかし、吃音によって引き起こされる問題としては、「スムーズに話せないこと」そのものだけではなく、主にブロックが生じている時に顔面が震えたり、手足を動かしたりすることで異様な印象を与えてしまう「随伴運動」や、ブロックが解除されるまで時間を稼ぐために「えーと」などの空語句を多用したり、言いづらい言葉を言い換えたりすることで、意味の通じづらい発話内容になってしまう「工夫」、そして、吃音ことを恐れるあまり、話すことに消極的になってしまい、場合によっては深刻な社会不適応に発展していく可能性もある「回避」などが指摘されています。そのため、表面的な中核症状の重さと、心理的な悩みの深さは必ずしも一致しません。

言友会（げんゆうかい）とは？

吃音のある人のセルフヘルプグループ（自助団体）として、1966年に東京で発足しました。吃音体験を分かち合う「例会」を中心として、会報の発行や吃音に対する理解を求めるためのイベント開催などの取り組みを通して、会員それぞれが「吃音があっても豊かに生きる」ための方法を見つけるべく、活動を続けています。

言友会には現在41の団体が加盟しており、高知県の近隣地域では、愛媛県で愛媛言友会、香川県で香川言友会、徳島県で徳島言友会が活動しています。

プログラム

13:00 - 13:20	開会あいさつ、言友会の紹介 ※オンライン配信予定
13:20 - 14:10	吃音に関する講演 ※オンライン配信予定 ・岡部健一氏（吃音外来医師、旭川荘南愛媛病院院長） ・鈴木淳氏（言語聴覚士、ふじおか小児クリニック）
14:10 - 14:40	吃音の体験談発表 ※オンライン配信予定
14:40 - 14:50	休憩
14:50 - 15:50	グループトーク（吃音体験の共有など）
15:50 - 16:00	閉会あいさつ

* 内容や時間配分は変更となる場合があります。

申し込み方法

以下のリンクより、事前にお申込みください。
右のQRコードからでも簡単にお申込みできます！

<https://forms.gle/tAZZbnnrTiwGdPxN6>

